

大日本ダイヤコンサルタント株式会社

ウォーカブルなまちづくりを実現するインフラの面的整備・活用
のためのマネジメントシステムの構築

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

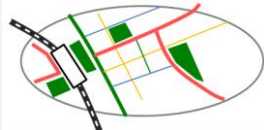
【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

中心市街地等の道路や公園等を対象に、ガイドラインと伴走支援、研修プログラム、制度活用を組み合わせ、小規模改良や維持管理等の既存予算や住民参加を活用し、計画段階から発注・契約、実施、維持管理までを包括的に関わることで、エリア価値を一体的、持続的、効率的に向上するマネジメントシステムを構築します。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

限られた予算で面的なウォーカブルまちづくりの実現

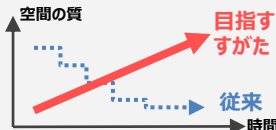
課題：多くの自治体にとって、メインストリートだけでなく面的にウォーカブルまちづくりを展開するための財源確保は困難



分野や路線をまたぐ**一体的デザインマネジメント**により、**最低限の整備で回遊性・賑わい**を生む仕組みを提案

維持管理や補修事業を通じたエリア価値の向上

課題：高質化を行っても維持管理や補修、小規模改良事業を重ねることで徐々に歩行環境の質が低下しエリアの一体性を毀損



多様な事業における**デザイン要求水準を定める**ことで、維持管理や補修を通じて**エリア価値を向上**

沿道関係者や民間事業者の利活用参画促進

課題：ほこみち制度等を活用しても、利活用のための煩雑な手続きにより維持管理への参画を含む利活用が進まず賑わい形成につながらない



手続きの標準化により、**沿道事業者が参画**しやすく、**住民による維持管理**につながる仕組みの導入

②提案内容（1/2）

従来のデザインマネジメントにおける課題

- ガイドラインやエリアデザイン等は計画時の指針としては有効であるがそれが具体的な事業の仕様や詳細な実行に至るまでの**一貫性は出しにくい**
- 従来のデザイン専門家やデザイン会議等によるマネジメントでは、事業間の調整に限られ**小規模改良や維持管理も含めた連携に限界がある**

ウォーカブルデザインマネジメントシステムの提案

- インフラの**包括的民間委託の考え方を援用し都市再生事業に面的に適用**することで事業効率化（コスト削減）と価値向上を両立
- 中心市街地の公園や街路、広場を面的にとらえ、整備や高質化事業から小規模改良、維持管理事業に至るまで、**計画段階から設計・施工、運営（利活用）段階に至るまでをサポート**しウォーカブルなまちづくりを実現
- 受発注におけるデザイン指針、地域の人材育成（研修）、マネージャーによる伴走、手続きのシステム化及びそれらの管理・可視化システムの組み合わせにより、**段階的・戦略的にエリア価値を向上するパッケージ**を導入

土木・都市デザイン／CM・PM／インフラエンジニアリングを統合したデザインマネジメントシステムの提案

マネジメントシステム

①ウォーカブルデザインガイドライン

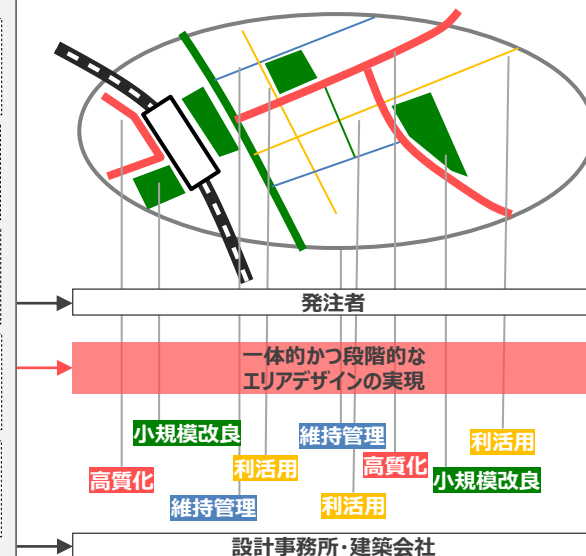
②設計施工に関する研修プログラム

③デザインマネージャー伴走

④利活用手続き簡易化システム

⑤都市モデルによる可視化システム

エリア全体への波及



目標

ウォーカブルなまちづくりの面的・段階的・持続的な展開により、賑わいと回遊性の大幅な向上を達成

大日本ダイヤコンサルタント株式会社

ウォーカブルなまちづくりを実現するインフラの面的整備・活用
マネジメントシステムの構築

【テーマ】 **戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保** / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 **道路** / **橋梁** / **公園** / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

中心市街地等の一定の範囲の道路や公園等を対象に、ガイドラインと伴走支援、研修プログラム、制度活用を組み合わせ、小規模改良や維持管理等の既存予算や住民参加を活用し、計画段階から発注・契約、実施、維持管理までを包括的に関わることで、エリア価値を一体的、持続的、効率的に向上するマネジメントシステムを構築します。

②提案内容

計画段階

①ガイドライン

各業務の発注・契約段階

②デザイン研修

各業務の実施段階

③マネージャー伴走

各箇所の運営段階

④手続きシステム

計画の進捗管理

⑤可視化システム

①ウォーカブルデザインガイドライン

- 関連するまちづくり計画に対応し、路線や施設の設計・施工及び維持管理業務における**留意点と水準**を記載したガイドライン
- 発注仕様書の記載や設計・施工・運営時のコスト・デザイン水準、**実施事項に関するチェックリスト**を付けエリア全体の一体性を確保



ガイドラインの例（弊社実績）

③デザインマネージャー伴走

- 各業務の発注や個別実施段階において、デザインマネージャーによる**DR（デザインレビュー）**を実施
- 個別業務の設計・施工時における**制約条件等**に応じた**助言**等によりデザイン品質を確保



舗装施工助言の例（弊社実績）

⑤都市モデルによる可視化システム

- GISや3D都市モデル等をプロジェクト全体の進捗や課題解決の状況、デザイン等を確認できる、弊社可視化システムで進捗管理
- ウォーカブルプロジェクト全体の**効果（歩行者数や地価、店舗数等）のモニタリング**や**箇所ごとの課題解決状況、各種事業の進行状況**や実現すべきデザイン等を地図上に可視化し、プロジェクトの到達点と現在の状況を確認

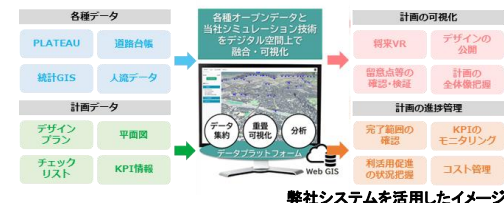
②設計施工に関するデザイン研修プログラム

- 発注者及び各事業を受注した**地域の設計・施工者に対するデザイン研修プログラム**を実施
- 設計・施工時のデザインの具体的な**実現方法や留意点等について解説**を行い、現場設計者や施工者と問題意識を共有するとともに、フィードバックを得てガイドラインに反映



④利活用手続き簡易化システム

- 整備後の道路や公園の利活用制度の標準化と、占用者・使用者の**手続き簡素化のガイドラインと標準的な申請システム**
- SNSやフォームを活用した申請システムとすることで、**沿道関係者の利活用や維持管理への参画と賑わいを促進**



弊社システムを活用したイメージ

【先進性】

- 本スキームは**戦略的インフラマネジメント手法のノウハウやツールを都市再生分野に適用**し、都市デザインとして質的向上とコスト削減を両立できます。
- これまでのデザインマネジメント手法と比べ、計画から維持管理・運営活用までを現場レベルでマネジメントすることで、一貫性の担保を行うとともに活用促進、**測定の難しい都市再生のプロジェクト効果測定までを達成する点において先進性が高い**スキームです。

【有効性】

- 本スキームにより実現できる「面的なデザインの一体性確保」は、既製品活用、特注品の単価低減、選択と集中が可能となる点で**エリアの価値をあげながらコストを抑えることが可能**です。
- 整備後の運営や利活用においても手続きが簡素化することで**地域住民や事業者にとって活用が可能**になるとともに、プロジェクトの進捗把握が容易となり、自治体にとってプロジェクトの**市民や議会、関係者へのアカウンタビリティ向上**にもつながります。

【汎用性】

- 本スキームは**都市再生に取り組むすべての自治体において適用が可能**であり、高い汎用性を有しています。
- とりわけ基幹事業がすでに整備されていたり、面的に取り組みを展開したい自治体にとって、**整備予算を抑えながら段階的かつ着実にまちづくりを推進できる手法**です。
- 自治体の現状や状況に応じて**システムの部分的な活用や実装が可能**であり、各自治体の状況に合わせたサービス提供が可能です。